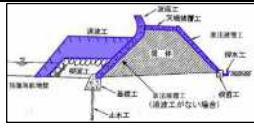
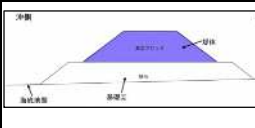
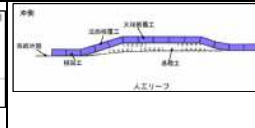
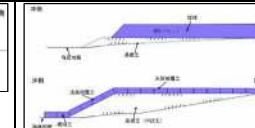


海岸保全施設の新設・改良時の留意事項

項目	堤防・護岸	離岸堤	人工リーフ	突堤
断面図				
健全度評価時の点検部材（赤字：必須）	波返工、天端被覆工、表法被覆工、裏法被覆工、消波工、砂浜、排水工、前面海底地盤、根固工、基礎工	堤体、基礎工、海底地盤	天端被覆工、法面被覆工、基礎工、海底地盤	堤体、基礎工、海底地盤、天端被覆工、法面被覆工、基礎工、海底地盤
気候変動により想定される影響	■越波等による浸水被害の増加 ■洗掘・波力増加による安定性の低下	■波浪低減効果の低下 ■ブロックの安定性の低下	■波浪低減効果の低下 ■ブロックの安定性の低下	■漂砂制御機能の低下 ■ブロックの安定性の低下
補修の容易性・施工性	■陸上施工と水上施工の併用が想定され、制約条件が多い ■変状が軽微、あるいは堤体が比較的健全である場合は、天端被覆工等のオーバーレイや張り換え ■変状大きい場合、空洞部にモルタル注入、堤体前面に張りコンクリート、または撤去張り換え	■ブロックの追加・積み直しのため、比較的容易	■既設ブロックの撤去・再設置が必要のため、やや困難 ■人工リーフ岸側のブロックが台船の作業半径の制約により、撤去できない可能性あり	■陸上施工と水上施工の併用が想定され、制約条件が多い ■既設ブロックの撤去・再設置が必要のため、やや困難
気候変動への適応策（留意事項）	■再改良（嵩上げ）しやすい構造 ■護岸前面への根固工・消波ブロックによる洗掘防止対策 ■離岸堤や人工リーフによる面的防護の推進	■再改良（嵩上げ）しやすい構造 ■既設ブロックと規格が異なるブロックの設置 ■既存ブロックを他工法で転用	■再改良（嵩上げ）しやすい構造	■再改良（嵩上げ）しやすい構造 ■突堤先端部への根固工・消波ブロックによる洗掘防止対策

海岸保全施設の新設・改良時の留意事項を追加

海岸保全施設整理表(1)

No	市町村名	海岸管理書 (所管)	区域 海岸名、地区海岸名 (地先)	種類	新設 「○」 改良 「△」	整備年	規模 (現況)		規模 (改良計画)		受益の地域 及びその状況		備考	気候変動を踏まえた 施設整備		維持又は修繕の方法
							延長等	天端高 (T.R.m) (G.S.1m地先)	延長等 ※単位:m	天端高 (T.R.m) (G.S.1m地先)	地域	状況		要施設 整備箇所	気候変動を踏まえた 想定される整備内容	
1	【東部】 岩美町	農林部 (水管理・国 土保全局)	岩美海岸陸上地区 (岩美町大字陸上字船置場109番地 先～字區ノ原1469番地先)	崩壊工	—	1976年	L=80m	3.9m	—	—	岩美町の 一部	住宅地		・養浜による構造的な砂浜管理等 ・護岸の整備、嵩上げ等		○護岸・階段式護岸・連続式護岸 施設の整備・劣化等の状況について、日常的な点検や5年に1回の程度の定期的な点検・評価を実施し、変化の発生位置や劣化の進行段階に応じて長寿命化を図るなど、適切な維持・修繕に努め、施設の機能を確保する。
				湧り突堤	—	2004年	L=200m	-0.5m	—	—	—	—				
				護岸 (堤防式護岸)	○	—	—	—	L=1139m 施設整備 実施中	2.5,3.5 施設整備 実施中	岩美町の 一部	住宅地	未指定			
				砂浜	—	—	—	—	L=1400m	—	岩美町の 一部	住宅地	未指定			
2	岩美町	農林部 (水管理・国 土保全局)	岩美海岸浦富地区 (岩美町大字牧谷字砂浜690番346地 先～大字浦富字中浜2475番207地先)	護岸	—	1972年	L=120.3m	4.5m	—	—	岩美町の 一部	住宅地 公共施設		・養浜による構造的な砂浜管理等 ・護岸の整備、嵩上げ等 ・人工リーフの改良等		○水門・門前 日常的な点検、台風時期などにおける期間点検及び5年に1回の程度の定期的な点検を行い、設置の経年変化や劣化、損傷を調査するとともに、必要に応じて長寿命化を図るなど、適切な維持・修繕に努め、施設の機能を確保する。 ○砂浜 日常的な点検や高波・高浪後に、打掃や護岸前面等の状況を確認し、必要に応じて養浜等の土砂対策により適切な維持に努める。
				崩壊工	—	1972年	L=150.8m	不明	—	—	岩美町の 一部	住宅地 公共施設				
				護岸	—	1975年	L=140.0m	4.5m	—	—	岩美町の 一部	住宅地 公共施設				
				崩壊工	—	1975年	L=137.3m	不明	—	—	岩美町の 一部	住宅地 公共施設				
				護岸 (階段式護岸)	—	1980年	L=56.5m	4.5m	—	—	岩美町の 一部	住宅地 公共施設				
				護岸 (階段式護岸)	—	1981年	L=99.0m	4.5m	—	—	岩美町の 一部	住宅地 公共施設				
				護岸 (階段式護岸)	—	1982年	L=86.0m	4.5m	—	—	岩美町の 一部	住宅地 公共施設				
				護岸 (階段式護岸)	—	1983年	L=42.0m	4.5m	—	—	岩美町の 一部	住宅地 公共施設				
				護岸 (軍用ノーフ)	○	1990年～1996年	L=401.1m W=50m	-2.0m	L=401.1m W=70m	-0.5m	—	—				
				護岸 (西側ノーフ)	○	1990年～1994年	L=210m W=30m	-2.0m	L=210m W=40m	-0.5m	—	—				
				消波対策 (検討中)	○	—	—	—	施設計画 検討中	未定	岩美町の 一部	住宅地 公共施設	未指定			
				砂浜	—	—	—	—	L=1000km	—	岩美町の 一部	住宅地 公共施設	未指定			

施設整備年を追加
新設・改良・要施設整備箇所・将来想定される整備内容の列を追加

海岸保全施設整理表(2)

No	市町村名	海岸管理種 (設置)	区域 海岸名、地区地名等 (地名)	種類	建設 「○」改良 「△」	整備年	現況 (現況)		現況 (改良計画)		受益の地域 及び状況		備考	施設整備を踏まえた 施設整備		維持又は修繕の方法
							延長等 (m)	高さ等 (m)	延長等 (m)	高さ等 (m)	地域	状況		整備内容	受益の地域及び状況	
3	岩手町	防潮堤 (水防用)	利根川沿岸地区 (岩手町大谷地区)	防潮堤 (新設式高岸)	—	1993～1994年	L=130.9m	4.5m	—	—	岩手町の一部	公共施設	○	-堤防による順応的な砂浜管理等 -護岸の整備、増上土等 -人工リーフの設置等	—	○護岸・防潮堤等による順応的な砂浜管理等 -護岸の整備、増上土等 -人工リーフの設置等
				防潮堤	—	不明	L=321.4m W=30.5m	-0.5m	—	—	—	—				
				砂浜	—	—	—	—	L=400m	—	岩手町の一部	住宅地 公共施設				
4	岩手市	防潮堤 (水防用)	利根川沿岸地区 (岩手市沿岸地区)	防潮堤	—	1997年～1999年	L=427m	4.5m	—	—	岩手町の一部	住宅地	—	—	—	○護岸 (人工リーフ)・防潮堤・堤防 -護岸による順応的な砂浜管理等 -護岸の整備、増上土等 -人工リーフの設置等
				防潮堤	—	1999年	L=100m	2.1m	—	—	—	—				
5	岩手市	防潮堤 (水防用・国土 保全用)	利根川沿岸地区 (岩手市沿岸地区)	防潮堤 (0号～1号)	—	2007年～2008年	L=200.85m B=24.84m	-1.0m	—	—	—	—	—	-堤防による順応的な砂浜管理等 -人工リーフの設置等	—	○護岸・防潮堤 -護岸による順応的な砂浜管理等 -護岸の整備、増上土等 -人工リーフの設置等
				防潮堤 (1号～2号)	—	1998年～2000年	L=199.10m B=22.35m	-0.5m	—	—	—	—				
				防潮堤 (2号～3号)	—	1998年～2000年	L=199.10m B=22.35m	-0.5m	—	—	—	—				
				防潮堤 (3号～4号)	—	2000年～2001年	L=199.10m B=22.35m	-0.5m	—	—	—	—				
				砂浜	—	—	—	—	L=1100m	—	岩手町の一部	森林				
6	岩手市	防潮堤 (水防用・国土 保全用)	利根川沿岸地区 (岩手市沿岸地区)	防潮堤 (4号～5号)	○	2002年～2002年	L=199.10m B=23.35m	-0.5m	L=200m B=50.0m	-0.2m	—	—	—	-堤防による順応的な砂浜管理等 -人工リーフの設置等	—	○護岸・防潮堤等による順応的な砂浜管理等 -護岸の整備、増上土等 -人工リーフの設置等
				防潮堤 (5号～6号)	—	2003年～2005年	L=198.70m B=24.91m	-0.5m	—	—	—	—				
				防潮堤 (6号～7号)	—	2008年～2012年	L=198.95m B=24.91m	-0.5m	—	—	—	—				
				防潮堤 (7号～8号)	○	2001年～2002年	L=199.10m B=22.35m	-0.5m	L=200m B=50.0m	-0.2m	—	—				
				防潮堤 (8号～9号)	○	2012年～2017年	L=199.10m B=24.91m	-0.5m	L=200m B=50.0m	-0.2m	—	—				
				防潮堤 (9号～10号)	○	2001年～2002年	L=199.10m B=22.35m	-0.5m	L=200m B=50.0m	-0.2m	—	—				
				砂浜	—	—	—	—	L=1800m	—	岩手町の一部	森林				

海岸保全施設整理表(3)

[illegible]

海岸保全施設整理表(4)

No	市町村名	海岸管理種 (所管)	区画 海岸名、地区地名等 (地区)	種類	建設 「O」 改良 「C」	整備年	規模(現況)		規模(改良計画)		施設の形態 及びその状況		備考	施設整備を踏まえた 施設整備		維持又は修繕の方法
							延長(m)	天端高 (1.0m) (1.5m等)	延長等 (m等)	天端高 (1.0m) (1.5m等)	地盤	状況		整備計画 整備箇所	施設整備を踏まえた 認定する整備内容	
9	(国) 鳥取市	海岸林 (木質防風・固 土保土用)	鳥取県鳥取市鳥取地区 (鳥取市鳥取町字西田1757番734・白 旗字白旗68番2)	突堤 (23号)	—	1979年	L=23.06m	1.5m	—	—	—	—	+鳥取市による鳥取市鳥取地区 +鳥取市鳥取町字西田1757番734・白 旗字白旗68番2 +突堤、防風堤、羽根工の築上げ等	+施設整備を踏まえた 認定する整備内容	+施設整備を踏まえた 認定する整備内容	+施設整備を踏まえた 認定する整備内容
				突堤 (22号)	—	1979年	L=31.0m	1.5m	—	—	—	—				
				突堤 (21号)	—	1979年	L=27.96m	1.3m	—	—	—	—				
				突堤 (20号)	—	1979年	L=23.02m	1.8m	—	—	—	—				
				突堤 (19号)	—	1978年	L=31.74m	1.4m	—	—	—	—				
				突堤 (18号)	—	1978年	L=40.76m	2.8m	—	—	—	—				
				突堤 (17号)	—	1978年	L=62.4m	2.8m	—	—	—	—				
				突堤 (16号)	—	1978年	L=36.5m (T型30.5m)	3.0m (1.3m)	—	—	—	—				
				突堤 (15号)	—	1975年	L=64.33m	2.3m	—	—	—	—				
				突堤 (14号)	—	1976年	L=44.42m	2.6m	—	—	—	—				
				突堤 (13号)	—	1976年	L=33.1m (I型26.9m)	2.9m (1.8m)	—	—	—	—				
				突堤 (12号)	—	1975年	L=37.8m (T型33.2m)	2.9m (2.2m)	—	—	—	—				
				突堤 (11号)	—	1975年	L=30.23m	3.2m	—	—	—	—				
				突堤 (10号)	—	1981年	L=45.41m	4.3m	—	—	—	—				
				突堤 (9号)	—	1981年	L=46.72m	4.8m	—	—	—	—				
				突堤 (8号)	—	1983年	L=47.83m	5.4m	—	—	—	—				

海岸保全施設整理表(5)

[illegible]

海岸保全施設整理表(6)

No	中取付名	海保管理官 (所管)	足柄 海岸名、地区海岸名 【地区】	種類	建設 【F】 改修 【C】	整備年	規模【現況】		規模【改修計画】		受益の範囲 及びその状況		備考	気象変動を踏まえた 物の名称	気候変動を踏まえた 建設する設備内容	維持又は修繕の方法
							延長等	天端高 【T.m】 【T.m】 【T.m】	延長等 【m】 【m】 【m】	天端高 【T.m】 【T.m】 【T.m】	地域	状況				
14	横浜市	高松区 (水辺緑地 土保整備)	朝夷海岸【地区】 【横浜市朝夷の大宮東本町西端1561番 90～大宮東本町西端1561番】	改修	—	1972年	L=25.0m	2.0m	—	—	—	—		・海岸による風防的効果と憩育等 ・海岸の防風、造り直し等 ・気候、気象工の防止等	○海岸・防風設備等 建設の設備（強化等の資材）により 沿岸的な防風が年々1回程度の想定より 約1.5倍程度増加し、またの防風 設備の強化の進行が図られ、防風 効果も向上し、防風設備の強化に 努め、防風の機能を確保する。	○防風（人工リーフ）・海岸堤・海岸 防風による防風効果の向上と防風 設備の強化（強化等の資材）により 沿岸的な防風が年々1回程度の想定より 約1.5倍程度増加し、またの防風 設備の強化の進行が図られ、防風 効果も向上し、防風設備の強化に 努め、防風の機能を確保する。
				改修	—	1972年	L=25.0m	1.8m	—	—	—	—	—			
				築堤	—	1966年	L=25.0m	1.9m	—	—	—	—	—			
				改修	—	1967年	L=25.0m	1.8m	—	—	—	—	—			
				築堤	—	1967年	L=25.0m	1.9m	—	—	—	—	—			
				改修	—	1967年	L=25.0m	2.0m	—	—	—	—	—			
				築堤	—	1967年	L=25.0m	1.8m	—	—	—	—	—			
				改修	—	1967年	L=25.0m	2.0m	—	—	—	—	—			
				改修	—	1967年	L=25.0m	2.0m	—	—	—	—	—			
				築堤	—	1966年	L=25.0m	1.9m	—	—	—	—	—			
				改修	—	1966年	L=25.0m	2.2m	—	—	—	—	—			
				築堤	—	1966年	L=25.0m	1.3m	—	—	—	—	—			
				改修 (元付)	—	1972年	L=64.5m	3.0m	—	—	—	—	—			
				築堤 (元付)	—	1972年	L=64.5m	3.0m	—	—	—	—	—			
				築堤 (元付)	—	1966年	L=126.15m	3.0m	—	—	—	—	—			
				築堤 (元付)	—	1967年	L=40.6m	3.0m	—	—	—	—	—			

海岸保全施設整理表(7)

[illegible]

海岸保全施設整理表(8)

No	市町村名 (設置)	海岸管理種 (設置)	区域 海岸名、地区地名 (地名)	種類	建設 「○」 改良 「△」	整備年	堤脚 (堤防)		堤脚 (改良計画)		受益の地域 及びその状況		備考	施設整備 施設名称		維持又は修繕の方法
							延長 延長 延長	高さ 高さ 高さ	延長等 延長等 延長等	天端高 天端高 天端高	地籍 地籍 地籍	状況 状況 状況		整備 整備 整備	施設整備 施設整備 施設整備	
14	鳥取市 (水防用・国土保正用)	鳥取市 (水防用・国土保正用)	鳥取市 (水防用・国土保正用)	防波堤	—	1984年	L=223.0m	3.0m	—	—	鳥取市の一部	公共施設	—	—	—	—
				防波堤	—	2013年	L=27.0m	3.0m	—	—	鳥取市の一部	公共施設				
				防波堤	—	2013年	L=21.5m	3.0m	—	—	鳥取市の一部	公共施設				
				防波堤	—	2013年	L=25.0m	3.0m	—	—	鳥取市の一部	公共施設				
				防波堤	—	1966年	—	—	L=1300m	—	鳥取市の一部	公共施設				
15	鳥取市	鳥取市 (農村振興用)	鳥取市 (農村振興用)	堤防	—	不明	L=44m	不明	—	—	—	—	—	—	—	—
				堤防	—	不明	1年	—	—	—	鳥取市の一部	農地				
16	鳥取市	鳥取市 (水防用・国土保正用)	鳥取市 (水防用・国土保正用)	防波堤	—	2009年	L=113.0m	4.5m	—	—	鳥取市の一部	商業用地	—	—	—	—
				防波堤	—	—	—	—	—	—	鳥取市の一部	商業用地				
17	鳥取市	鳥取市 (水防用)	鳥取市 (水防用)	防波堤	—	1980年	L=169m	2.5m	—	—	鳥取市の一部	住宅地	—	—	—	—
				防波堤	—	—	—	—	L=500m	—	鳥取市の一部	公共施設 住宅地				
18	鳥取市	鳥取市 (水防用)	鳥取市 (水防用)	防波堤	—	1996年	L=60m	2.0m	—	—	—	—	—	—	—	—
19	鳥取市	鳥取市 (水防用)	鳥取市 (水防用)	堤防 (防波堤)	—	不明	L=331m	0.8~2.5m	—	—	—	—	○	—	—	—
				堤防 (防波堤)	—	不明	L=539m	2.8m	—	—	鳥取市の一部	公共施設 住宅地				
				防波堤	—	—	—	—	L=500m	—	鳥取市の一部	公共施設 住宅地				
20	鳥取市	鳥取市 (水防用)	鳥取市 (水防用)	防波堤	—	1993~1996年	L=142m	2.0m	—	—	—	—	○	—	—	—
				防波堤	—	2000年	L=70m	2.0m	—	—	—	—				

海岸保全施設整理表(9)

No	市町村名	海岸管理計画 (用途)	区域 海岸名、地区地名等 〔特定〕	種類	建設 「○」 改修 「△」	整備年	規模 (設計)				典型的地域 及びその状況		備考	気候変動を踏まえた 施設整備		種別又は修繕の方法
							延長等	天海高 (T.R.m) 25.0m未満	延長等 up/down	天海高 (T.R.m) 25.0m未満	地質	状況		事業計画 整備箇所	整備内容等 指定される整備内容	
21	〔中野〕 高松市	高松港 (港域部)	小浜港海部、玉置地区 (高松市玉置小浜)	護岸	—	1972年	L=211m	4.5m	—	—	高松市街地 一部	森林	○		-護岸による順応的な防災管理等 -護岸の整備、高上げ等	○護岸・定形式護岸・護岸防波堤 護岸の整備・天海高の定形式として、 は地質的な定形式や年10日以上の定形式 等からなる定形式を築造し、天海高の発生 位置や高さを定形式の高さに合わせて天海 高化を図るなど、適切な維持・修繕に 努め、防波の機能を確保する。
				砂浜	—	—	—	—	L=200m	—	高松市街地 一部	住宅地				
22	高松市	高松港 (港域部)	小浜港海部、玉置地区 (高松市玉置小浜)	護岸	—	1980年	L=445m	4.5m	—	—	高松市街地 一部	住宅地		-護岸による順応的な防災管理等 -護岸の整備、高上げ等 -護岸の改良、高上げ等		○建設（人工リ）・護岸地・築堤 護岸による順応的な防災管理等 -護岸の整備、高上げ等 -護岸の改良、高上げ等 -護岸の改良、高上げ等
				築堤	—	不明	L=93m	1.5m	—	—	—	—				
				砂浜堤	—	1980年	L=100m	1.5m	—	—	—	—				
				砂浜	—	—	—	—	L=300m	—	高松市街地 一部	住宅地				
23	高松市	高松港 (水産部)	高松港沿岸地区 (高松市明子)	護岸	—	1971年～1987年	L=1159m	3.0m～4.5m	—	—	高松市街地 一部	住宅地		-護岸による順応的な防災管理等 -護岸の整備、高上げ等 -護岸の改良、高上げ等		○水門・防壁 防波堤の設置、天海高の定形式に おける天海高の発生位置や高さを定形式 の高さに合わせて天海高化を図るなど、 適切な維持・修繕に努め、防波の機能を 確保する。
				築堤	—	1976年～1981年	21基 L=724m	不明	—	—	—	—				
				砂浜堤	—	1985年～2000年	3基 L=450m	2.5m	—	—	—	—				
				砂浜	—	—	—	—	L=2700m	—	高松市街地 一部	住宅地 森林				
24	高松市	高松港 (水産部)	高松港沿岸地区 (高松市明子～徳津)	護岸	—	1964～1976年	L=411.5m	2.5m	—	—	高松市街地 一部	公共施設 住宅地		-護岸による順応的な防災管理等 -護岸の整備、高上げ等 -護岸の改良、高上げ等		○護岸 防波堤の設置、天海高の定形式に おける天海高の発生位置や高さを定形式 の高さに合わせて天海高化を図るなど、 適切な維持・修繕に努め、防波の機能を 確保する。
				砂浜堤	—	1999～2003年	3基 L=300m	2.5m	—	—	—	—				
				砂浜	—	—	—	—	L=800m	—	高松市街地 一部	住宅地 森林				
25	高松市	高松港 (水産部)	高松港沿岸地区 (高松市明子～徳津)	砂浜堤	—	2003年	L=100m	2.5m	—	—	—	—	○	-護岸による順応的な防災管理等 -護岸の整備、高上げ等 -人工リ・200m整備、改良等		
				築堤	—	不明	L=200m	不明	—	—	—	—				
				砂浜	—	—	—	—	L=700m	—	高松市街地 一部	自然公園				

海岸保全施設整理表(10)

No	市町村名	有岸町特典 (対象)	区域 海洋名、防災圏名 (該当)	種類	建設 「有」 改修 「無」	整備年	規模 (長さ)		規模 (計画計画)		整備の地域 及び状況		備考	関係する関係者 関係者		維持又は修繕の方法
							延長等	水深等 (1.0m) W=40m	延長等 (単位)	水深等 (1.0m) W=40m	地域	状況		関係する関係者 関係者	関係する関係者 関係者	
26	北栄町	西取島 (水防堤、国 土保全局)	北栄海岸 (北栄町北から北栄町南)	護岸	—	不明	2基 L=600m W=40m	-1.5m	—	—	—	—	—	—	—	—
				砂浜	—	—	—	—	L=3900m	—	北栄町の 一部	森林	未指定	—	—	—
27	北栄町	西取島 (水防堤、国 土保全局)	大栄海岸大栄地区 (北栄町大栄地区から北栄町南)	護岸	○	不明	2基 L=394.3m W=50m	-1.5m	2基 L=536.6m	-1.5m	—	—	—	—	—	—
				砂浜	—	—	—	—	L=3000m	—	北栄町の 一部	森林	未指定	—	—	—
				護岸 (防砂防波堤)	—	1999年	L=25.8m	4.5m	—	—	北栄町の 一部	森林	—	—	—	—
				護岸 (防砂防波堤)	—	1988年	L=81.2m	4.5m	—	—	北栄町の 一部	森林	—	—	—	—
				護岸 (防砂防波堤)	—	1988年	L=142.9m	4.5m	—	—	北栄町の 一部	森林	—	—	—	—
				護岸 (防砂防波堤)	—	1989年	L=45.1m	4.5m	—	—	北栄町の 一部	森林	—	—	—	—
				護岸 (防砂防波堤)	—	1989年	L=16.3m	4.5m	—	—	北栄町の 一部	森林	—	—	—	—
				護岸 (防砂防波堤)	—	1990年	L=52.6m	4.5m	—	—	北栄町の 一部	森林	—	—	—	—
				護岸 (防砂防波堤)	—	1991年	L=9.5m	4.5m	—	—	北栄町の 一部	森林	—	—	—	—
				砂浜	—	—	—	—	L=3000m	—	北栄町の 一部	森林	未指定	—	—	—
				護岸	—	1967年	L=90.0m	4.5m	—	—	等速町の 一部	住宅街	—	—	—	—
29	砂通町	西取島 (水防堤、国 土保全局)	事任海岸 (等速町北側)	護岸	—	1958年	L=66.0m	4.5m	—	—	等速町の 一部	住宅街	—	—	—	—
				護岸	—	1959年	L=61.0m	4.5m	—	—	等速町の 一部	住宅街	—	—	—	—
				護岸	—	1959年	L=39.0m	4.5m	—	—	等速町の 一部	住宅街	—	—	—	—

海岸保全施設整理表(11)

[illegible]

海岸保全施設整理表(12)

No	市町村名	海岸管理計画 (年度)	区画 海岸名、地区地名等 〔表裏〕	種類	建設 「○」 改修 「△」	整備年	規模 (設置)		規模 (改修計画)		設置の地域 及びその状況		備考	施設整備を促進する 施設整備		維持又は修繕の方法
							延長等	天海高 (T.R.m) (L.S.R.m)	延長等 (m/km)	天海高 (T.R.m) (L.S.R.m)	地帯	状況		事業計画 整備箇所	整備内容等 指定される整備内容	
29	(国定) 那覇市	内取島 (水産部・国 土省管轄)	那覇市 (那覇市八幡)	護岸	—	1981年	L=120.0m	4.5m	—	—	那覇市の 一部	住宅地	○	施設による自然的な防災量増等 ・護岸の整備、高土台等 ・護岸の整備、高土台等	施設整備を促進する 施設整備	維持又は修繕の方法
				護岸	—	1981年	L=125.0m	4.5m	—	—	那覇市の 一部	住宅地				
				護岸	—	1982年	L=140.0m	4.5m	—	—	那覇市の 一部	住宅地				
				修理工	—	1982年	L=108.0m	—	—	—	—	—				
				護岸	—	1982年	L=140.0m	4.5m	—	—	那覇市の 一部	住宅地				
				修理工	—	1982年	L=125.3m	—	—	—	—	—				
				修理工	—	1983年	L=97.5m	—	—	—	—	—				
				護岸	—	1983年	L=38.0m	4.5m	—	—	那覇市の 一部	住宅地				
				修理工	—	1983年	L=52.0m	—	—	—	—	—				
				護岸	—	1983年	L=145.0m	4.5m	—	—	那覇市の 一部	住宅地				
				護岸	—	1984年	L=135.9m	4.5m	—	—	那覇市の 一部	住宅地				
				護岸	—	1984年	L=34.6m	4.5m	—	—	那覇市の 一部	住宅地				
				突堤	—	1984年	L=179.0m	2.8m	—	—	—	—				
				護岸	—	1985年	L=79.8m	4.5m	—	—	那覇市の 一部	住宅地				
				護岸	—	1985年	L=138.7m	4.5m	—	—	那覇市の 一部	住宅地				
				護岸 (1号)	—	1985年	L=100.0m	2.5m	—	—	—	—				

海岸保全施設整理表(13)

No	市町村名	施行年度 (年度)	区画 名称、地区名称 [地先]	種類	建設 「○」 改修 「△」	整備年	規模 (設計)		規模 (整備計画)		設置の地域 及びその状況		備考	施設整備 整備年度 整備箇所		維持又は修繕の方法
							延長等	天海高 (T.R.m) (L.R.P.M)	延長等 (m)	天海高 (T.R.m) (L.R.P.M)	地盤	状況		整備年度 整備箇所	整備年度を要する 指定される整備内容	
29	(国)	鳥取県 (水産部・国 土庁)	東松浦 (松浦町八幡)	海岸堤 (2号)	—	1987年	L=100.0m	2.5m	—	—	—	—	○	+施設による継続的な砂浜管理等 +護岸の整備、高上げ等 +護岸の整備、高上げ等	+施設による継続的な砂浜管理等 +護岸の整備、高上げ等 +護岸の整備、高上げ等	○施設による継続的な砂浜管理等 +護岸の整備、高上げ等 +護岸の整備、高上げ等
				護岸	—	1988年	L=21.5m	4.5m	—	—	松浦町の 一部	住宅地				
				護岸	—	1989年	L=51.0m	4.5m	—	—	松浦町の 一部	住宅地				
				護岸	—	1989年	L=65.0m	4.5m	—	—	松浦町の 一部	住宅地				
				護岸	—	1990年	L=119.0m	4.5m	—	—	松浦町の 一部	住宅地				
				防波工	—	1990年	L=65.0m	3.7m	—	—	—	—				
				護岸堤 (3号)	—	1991年	L=162.8m	1.5m	—	—	—	—				
30	松浦町	鳥取県 (港務局)	赤松浦海岸八幡地区 (松浦町八幡)	護岸	—	1977年	L=1034m	4.5m	—	—	松浦町の 一部	森林	○	+施設による継続的な砂浜管理等 +護岸の整備、高上げ等 +人工リーフの設置等	+施設による継続的な砂浜管理等 +護岸の整備、高上げ等 +人工リーフの設置等	○施設による継続的な砂浜管理等 +護岸の整備、高上げ等 +人工リーフの設置等
				文庫	—	1981年～1990年	3基 L=391m	2.5m	—	—	—	—				
				護岸	—	2008年	3基 L=669.9m	4.0m	—	—	—	—				
				防波	—	—	—	—	L=900m	—	松浦町の 一部	住宅地				
31	松浦町	鳥取県 (港務局)	赤松浦海岸八幡地区 (松浦町八幡)	護岸	—	不明	L=1067m	4.5m	—	—	松浦町の 一部	住宅地	○	+施設による継続的な砂浜管理等 +護岸の整備、高上げ等	+施設による継続的な砂浜管理等 +護岸の整備、高上げ等	○施設による継続的な砂浜管理等 +護岸の整備、高上げ等 +人工リーフの設置等
				文庫	—	1996年～1997年	L=131m	2.5m	—	—	—	—				
				防波	—	—	—	—	L=400m	—	松浦町の 一部	住宅地				
32	松浦町	鳥取県 (港務局)	赤松浦海岸八幡地区 (松浦町八幡)	護岸	—	不明	L=1428m	4.5m	—	—	松浦町の 一部	住宅地	○	+施設による継続的な砂浜管理等 +護岸の整備、高上げ等	+施設による継続的な砂浜管理等 +護岸の整備、高上げ等	○施設による継続的な砂浜管理等 +護岸の整備、高上げ等 +人工リーフの設置等
33	松浦町	鳥取県 (港務局)	赤松浦海岸八幡地区 (松浦町八幡)	護岸	—	不明	L=384m	4.5m	—	—	松浦町の 一部	住宅地				

海岸保全施設整理表(14)

No	市町村名	海岸管理科 (所管)	区域 海岸名、地区海岸名 (地区)	種類	建設 「年」 改良 「年」	整備年	型番 (設計)		規格 (建設計画)		設置の状況 及びその状況		備考	気象変動を踏まえた 施設整備		維持又は修繕の方法
							型番	天海高 (T.R.m) (R.L.m)	建設年 (R.L.m)	天海高 (T.R.m) (R.L.m)	地盤	状況		整備箇所	気候変動を踏まえた 想定される整備内容	
34	砂浦町	農地課 (水防班・国 土保全班)	赤崎海岸赤田地区 (砂浦町赤田)	護岸	—	1968年	L=63.0m	4.5m	—	—	砂浦町の 一部	住宅地	-護岸の整備、高土台等 ※倉敷港、砂浦町をともに指定	○護岸の整備、高土台等 ※倉敷港、砂浦町をともに指定	○護岸の整備、高土台等 ※倉敷港、砂浦町をともに指定	○護岸の整備、高土台等 ※倉敷港、砂浦町をともに指定
				護岸	—	1969年	L=60.0m	4.5m	—	—	砂浦町の 一部	住宅地				
				護岸	—	1971年	L=180.5m	4.5m	—	—	砂浦町の 一部	住宅地				
				護岸	—	1972年	L=64.5m	4.5m	—	—	砂浦町の 一部	住宅地				
				護岸	—	1972年	L=96.0m	4.5m	—	—	砂浦町の 一部	住宅地				
				護岸	—	1974年	L=90.0m	4.5m	—	—	砂浦町の 一部	住宅地				
				護岸	—	1975年	L=80.0m	4.5m	—	—	砂浦町の 一部	住宅地				
				護岸	—	1976年	L=70.0m	4.5m	—	—	砂浦町の 一部	住宅地				
35	砂浦町	農地課 (水防班・国 土保全班)	赤崎海岸八幡地区 (砂浦町八幡)	護岸	—	1972年	L=60.0m	4.5m	—	—	砂浦町の 一部	森林				
				護岸	—	1984年	L=119.1m	4.5m	—	—	砂浦町の 一部	森林				
				護岸	—	1985年	L=102.3m	4.5m	—	—	砂浦町の 一部	森林				
				護岸	—	1985年	L=53.5m	4.5m	—	—	砂浦町の 一部	森林				
				護岸	—	1986年	L=100.0m	4.5m	—	—	砂浦町の 一部	森林				
36	砂浦町	農地課 (水防班・国 土保全班)	赤崎海岸八幡地区 (砂浦町八幡)	護岸	—	1988年	L=85.2m	4.5m	—	—	砂浦町の 一部	公共施設				
				護岸	—	1990年	L=42.1m	4.5m	—	—	砂浦町の 一部	公共施設				
				護岸	—	1991年	L=56.5m	4.5m	—	—	砂浦町の 一部	公共施設				
				護岸	—	1992年	L=36.7m	4.5m	—	—	砂浦町の 一部	公共施設				

海岸保全施設整理表(15)

No	市町村名	海岸管理区 〔所管〕	区域 海岸名、地区地名等 〔地先〕	種類	鋼筋 「○」 コン 「△」	築造年	規模(現況)		規模(改良計画)		設置の地域 及びその状況		備考	気候変動を踏まえた 留意事項		維持又は修繕の方法
							延長等	大断面 (T.R.m) 25.0m未満	小断面 (T.R.m) 25.0m以上	大断面 (T.R.m) 25.0m以上	地域	状況		整備計画 整備給付	気候変動を踏まえた 留意される整備内容	
37	〔西條町〕	西條地区 (水郷地・田 十保半田)	中山海岸田中地区 (大山村田中～大山村御崎)	防し	—	—	—	—	—	—	—	—				〇海岸・堤防式護岸・根柢型護岸 防線の整備・強化等の定例として、 旧地内各区域や年々1日100m以上の防 防を必要とする区域等、防災の発生 促進や強化の進行防線に改定して長寿 社会化を図るなど、適切な維持・修繕に 努め、施設の機能性を確保する。
38	大山村	大山村 (水郷地)	御崎・東海岸田中地区 (大山村御崎)	防波堤 (D>9.0mの防波堤) 防波堤 (D>9.0mの防波堤)	—	1979～1983年	L=587m	1.8m	—	—	—	—		〇護岸の整備、高上げ等 〇護岸の整備、高上げ等	〇護岸の整備、高上げ等 〇護岸の整備、高上げ等	〇護岸・堤防式護岸・根柢型護岸 防線の整備・強化等の定例として、 旧地内各区域や年々1日100m以上の防 防を必要とする区域等、防災の発生 促進や強化の進行防線に改定して長寿 社会化を図るなど、適切な維持・修繕に 努め、施設の機能性を確保する。
39	大山村	西條地区 (水郷地・田 十保半田)	中山海岸下田地区 (大山村下田字大字田11番地先～大山村 下田字大字田11番地先2番地先)	防し	—	—	—	—	—	—	—	—				〇護岸・堤防式護岸・根柢型護岸 防線の整備・強化等の定例として、 旧地内各区域や年々1日100m以上の防 防を必要とする区域等、防災の発生 促進や強化の進行防線に改定して長寿 社会化を図るなど、適切な維持・修繕に 努め、施設の機能性を確保する。
40	大山村	西條地区 (水郷地・田 十保半田)	中山海岸下田地区 (大山村下田字大字田11番地先～大山村 下田字大字田11番地先2番地先)	護岸 (根柢型護岸)	—	1987年	L=219.0m	4.5m	—	—	大山村の 一部	防地		〇護岸の整備、高上げ等 〇護岸の整備、高上げ等	〇護岸の整備、高上げ等 〇護岸の整備、高上げ等	〇護岸・堤防式護岸・根柢型護岸 防線の整備・強化等の定例として、 旧地内各区域や年々1日100m以上の防 防を必要とする区域等、防災の発生 促進や強化の進行防線に改定して長寿 社会化を図るなど、適切な維持・修繕に 努め、施設の機能性を確保する。
41	大山村	西條地区 (水郷地・田 十保半田)	中山海岸下田地区 (大山村下田字大字田11番地先～大山村 下田字大字田11番地先2番地先)	護岸	—	1987年～1990年	L=334m	4.5m	—	—	大山村の 一部	防地		〇護岸の整備、高上げ等 〇護岸の整備、高上げ等	〇護岸の整備、高上げ等 〇護岸の整備、高上げ等	〇護岸・堤防式護岸・根柢型護岸 防線の整備・強化等の定例として、 旧地内各区域や年々1日100m以上の防 防を必要とする区域等、防災の発生 促進や強化の進行防線に改定して長寿 社会化を図るなど、適切な維持・修繕に 努め、施設の機能性を確保する。
42	大山村	西條地区 (水郷地・田 十保半田)	中山海岸下田地区 (大山村下田字大字田11番地先～大山村 下田字大字田11番地先2番地先)	護岸	—	1987年～1994年	L=362m	4.5m	—	—	大山村の 一部	防地		〇護岸の整備、高上げ等 〇護岸の整備、高上げ等	〇護岸の整備、高上げ等 〇護岸の整備、高上げ等	〇護岸・堤防式護岸・根柢型護岸 防線の整備・強化等の定例として、 旧地内各区域や年々1日100m以上の防 防を必要とする区域等、防災の発生 促進や強化の進行防線に改定して長寿 社会化を図るなど、適切な維持・修繕に 努め、施設の機能性を確保する。
43	大山村	西條地区 (水郷地・田 十保半田)	中山海岸下田地区 (大山村下田字大字田11番地先～大山村 下田字大字田11番地先2番地先)	護岸	—	1986年	L=205.0m	4.5m	—	—	大山村の 一部	防地		〇護岸の整備、高上げ等 〇護岸の整備、高上げ等	〇護岸の整備、高上げ等 〇護岸の整備、高上げ等	〇護岸・堤防式護岸・根柢型護岸 防線の整備・強化等の定例として、 旧地内各区域や年々1日100m以上の防 防を必要とする区域等、防災の発生 促進や強化の進行防線に改定して長寿 社会化を図るなど、適切な維持・修繕に 努め、施設の機能性を確保する。
				護岸	—	1988年	L=140.0m	4.5m	—	—	大山村の 一部	防地		〇護岸の整備、高上げ等 〇護岸の整備、高上げ等	〇護岸の整備、高上げ等 〇護岸の整備、高上げ等	〇護岸・堤防式護岸・根柢型護岸 防線の整備・強化等の定例として、 旧地内各区域や年々1日100m以上の防 防を必要とする区域等、防災の発生 促進や強化の進行防線に改定して長寿 社会化を図るなど、適切な維持・修繕に 努め、施設の機能性を確保する。
				護岸	—	1989年	L=45.0m	4.5m	—	—	大山村の 一部	防地		〇護岸の整備、高上げ等 〇護岸の整備、高上げ等	〇護岸の整備、高上げ等 〇護岸の整備、高上げ等	〇護岸・堤防式護岸・根柢型護岸 防線の整備・強化等の定例として、 旧地内各区域や年々1日100m以上の防 防を必要とする区域等、防災の発生 促進や強化の進行防線に改定して長寿 社会化を図るなど、適切な維持・修繕に 努め、施設の機能性を確保する。
				護岸	—	1990年	L=78.5m	4.5m	—	—	大山村の 一部	防地		〇護岸の整備、高上げ等 〇護岸の整備、高上げ等	〇護岸の整備、高上げ等 〇護岸の整備、高上げ等	〇護岸・堤防式護岸・根柢型護岸 防線の整備・強化等の定例として、 旧地内各区域や年々1日100m以上の防 防を必要とする区域等、防災の発生 促進や強化の進行防線に改定して長寿 社会化を図るなど、適切な維持・修繕に 努め、施設の機能性を確保する。
				護岸	—	1991年	L=58.0m	4.5m	—	—	大山村の 一部	防地		〇護岸の整備、高上げ等 〇護岸の整備、高上げ等	〇護岸の整備、高上げ等 〇護岸の整備、高上げ等	〇護岸・堤防式護岸・根柢型護岸 防線の整備・強化等の定例として、 旧地内各区域や年々1日100m以上の防 防を必要とする区域等、防災の発生 促進や強化の進行防線に改定して長寿 社会化を図るなど、適切な維持・修繕に 努め、施設の機能性を確保する。

海岸保全施設整理表(16)

No	市町村名	有岸の河川 (名称)	区域 湖沼名、地区排水名 (状況)	種類	建設 「F」 改修 「C」	整備年	規模(既設)		規模(空欄計画)		変更の地域 及び状況		備考	関係支所を指定した 数量指標		維持又は修繕の方法
							延長等	天満部 (注6) (m)	延長等 (単位)	天満部 (注6) (m)	地域	状況		事業内容 整備箇所	更新変動が想定され 指定する整備内容	
44	大山町	西取川 (水管理・国 土保全型)	中山海岸相対岸地区 (大山町松岡保子小跡4番地先 ～大山町松岡平字下ノ木799番地先)	護岸	—	1986年	L=217.0m	4.5m	—	—	大山町の 一部	農地 山林野原		-護岸の整備、高土台等	中山海岸相対岸地区と指定	○護岸・定式式護岸・機能的護岸 機能的護岸・石や木の資材について、 江戸時代末期から明治15日頃の沿海 河川にみられる砂防堤など、安易な発生 松葉や荒化の進行を防ぐ、古くは青 銅をとりかえ、石の堆積・砂防に 効果。護岸の機能を確保する。
				護岸	—	1988年	L=46.1m	4.5m	—	—	大山町の 一部	農地 山林野原				
				護岸	—	1989年	L=69.1m	4.5m	—	—	大山町の 一部	農地 山林野原				
				護岸	—	1988年	L=149.0m	4.5m	—	—	大山町の 一部	農地 山林野原				
45	大山町	両取川 (水管理・国 土保全型)	中山海岸造成地区 (大山町野上～大山町置成)	なし	—	—	—	—	—	—	大山町の 一部	農地 山林野原			中山海岸造成地区と指定	○遊民（人・犬）一、難民・被災 者による身体障害者の生活や身体バ ラカの移動・散乱・落下等について、目 的地的な遊民防止と1日程度の避難の ための一時滞在場所、避難としてバ ラの移動等による被害を軽減し、避難 に効果。護岸の機能を確保する。
46	大山町	両取川 (水管理・国 土保全型)	中山海岸造成地区 (大山町置成～大山町置成)	なし	—	—	—	—	—	—	—			中山海岸造成地区と指定		
47	大山町	西取川 (遊水型)	豊田川沿岸造成地区 (大山町大字豊成平字崎1417・1番地 ～大山町大字豊成平字下西365・3番地)	護岸 (A-E)	—	不明	L=494m	3.5m	—	—	大山町の 一部	農地 住宅地		-豊田川上流からの砂泥溜まり等 -護岸の整備、高土台等 -護岸の高さ向上等		○遊民 日常的な遊民や危険な遊民、子供や 高齢者が遊びに来るなど、必要な 対策を実施し、遊民の発生を抑制し、 安全化を図るとともに、必要に応じ、 災害発生時の緊急避難に活用する。
				護岸 (F)	—	不明	L=32m	3.45m	—	—	大山町の 一部	農地 住宅地				
				護岸 (1～5)	—	不明	L=530m	4.5m	—	—	大山町の 一部	農地 住宅地				
				護岸 (1～1)	—	不明	L=70m	4.0m	—	—	大山町の 一部	農地 住宅地				
				突堤	—	不明	L=110m	不明	—	—	—	—				
				防潮堤	—	不明	2箇 L=213m	2.5m	—	—	—	—				
				砂浜	—	—	—	—	L=500m	—	大山町の 一部	住宅地				

海岸保全施設整理表(17)

No	市町村名	海岸管理番号 (所管)	区域 海岸名、地区地名等 〔地先〕	種類	経緯 〔φ〕 或緯 〔λ〕	築造年	規模〔現況〕		規模〔改良計画〕		設置の地域 及びその状況		備考	気候変動を踏まえた 施設整備		維持又は修繕の方法
							延長等	大断面 〔T.R.m〕 325.0m未満	設置年 等〔年〕	大断面 〔T.R.m〕 325.0m以上	地域	状況		整備計画 整備給付	気候変動を踏まえた 想定される整備内容	
48	大山町	鳥取県 〔水源地・国土保全局〕	名和海岸南西沖地区 〔大山町大字豊成字下西定355-1地先 ～大山町大字豊成字下西定157-2地先〕	堤防	—	1965年	L=257.0m	4.5m	—	—	大山町の一 部	住宅地	○	-護岸の整備、高上げ等 -人工工法の整備、改良等		○護岸・堤防式護岸・堤防式護岸 施設の修繕・改修等の実施について、 日増しな浸食や年々11月以降の波浪 等の影響・被害を想定し、浸食の発生 位置や浸食の進行状況に応じて長年 の調査など、適切な維持・修繕に 努め、施設の機能を確保する。
				護岸	—	不明	L=325.0m	4.5m	—	—	大山町の一 部	農地				
				護岸	—	1961年～1992年	L=100m	1.0m	—	—	—	—				
				護岸工	—	1976年	L=66.5m	—	—	—	—	—				
49	大山町	鳥取県 〔水源地・国土保全局〕	名和海岸東沖地区 〔大山町大字東田字中野田5番地先 ～大山町大字東田字中野田116-2地先〕	護岸	—	不明	L=712.0m	4.5m	—	—	大山町の一 部	住宅地・ 農地	○	-護岸の整備、高上げ等 -護岸の改良、高上げ等 -護岸の改良、高上げ等		○水門・防波 壁等の設置、台地崩壊などの 浸食防止及び5年に1回程度の定期 的な点検を行い、施設の長年変化や 劣化、損傷を調査するとともに、必要に 応じて長期的な計画など、適切な維 持・修繕に努め、施設の機能を確保す る。
				護岸	—	不明	L=11.0m	4.5m	—	—	大山町の一 部	住宅地 農地				
				護岸	—	1961年	L=81.0m	4.5m	—	—	大山町の一 部	住宅地 農地				
				堤防	—	1962年	L=70.0m	4.5m	—	—	大山町の一 部	住宅地 農地				
				堤防	—	1965年	L=449.5m	4.5m	—	—	大山町の一 部	住宅地 農地				
				護岸工	—	1978年	L=66.8m	—	—	—	—	—				
				護岸	—	1979年	L=72.0m	4.5m	—	—	大山町の一 部	住宅地 農地				
				護岸工	—	1979年	L=130.5m	—	—	—	—	—				
				護岸	—	1980年	L=35.0m	4.5m	—	—	大山町の一 部	住宅地 農地				
				護岸工	—	1980年	L=34.8m	—	—	—	—	—				

海岸保全施設整理表(18)

No	市町村名	有価証券簿 (括弧)	区画	種類	建設 「F」 改修 「C」	整備年	規模 (㎡)		規模 (空画計画)		変換地域 及びその状況		備考	取得変換を踏まえた 数値評価		維持又は修繕の方法
							延床等	天井部 (1.6m) 以上の部分	延床等 (㎡)	天井部 (㎡)	地域	状況		事業内容 等	取得変換を踏まえた 数値評価内容	
49	福岡県 大山町	内取駅 (水廻り・衛生 設備全備)	名和町東部地区 (大山町大字東部字中野甲5番地先 ～大山町大字東部字第114～2地先)	護岸	—	1981年	L=75.0m	4.5m	—	—	大山町の一 部	住宅地 農地	未確認	・取得による転換の面積は重要等 ・道路の整備、再上り等 ・修繕等の費上り等	○道庁・建設・農林水産省 関係の協議・市町村の合意について、 この市町村の2004年に11区画の認定済 有価証券・空画計画は、変換の発生 が顕著な変化の進行期間に及び、長寿 化を促進すると、道路の維持・修繕に 効果、無効の両面を確保する。	
				仮設工	—	1981年	L=265.4m	—	—	—	—	—				
				護岸	—	1982年	L=108.0m	4.5m	—	—	大山町の一 部	住宅地 農地				
				仮設工	—	1982年	L=108.8m	—	—	—	—	—				
				護岸	—	1983年	L=110.0m	4.5m	—	—	大山町の一 部	住宅地 農地				
				仮設工	—	1983年	L=181.3m	—	—	—	—	—				
				仮設工	—	1987年	L=100.0m	2.5m	—	—	大山町の一 部	住宅地 農地				
				仮設工	—	1987年～1993年	L=140.0m	2.5m	—	—	大山町の一 部	住宅地 農地				
				護岸	—	1991年	L=85.0m	4.5m	—	—	大山町の一 部	住宅地 農地				
				護岸	—	1992年	L=69.0m	4.5m	—	—	大山町の一 部	住宅地 農地				
				護岸	—	1993年	L=130.7m	4.5m	—	—	大山町の一 部	住宅地 農地				
				護岸	—	1994年	L=84.2m	4.5m	—	—	大山町の一 部	住宅地 農地				
				護岸	—	1995年	L=74.0m	4.5m	—	—	大山町の一 部	住宅地 農地				
				護岸	—	1996年	L=84.6m	4.5m	—	—	大山町の一 部	住宅地 農地				
護岸	—	1999年	L=54.2m	4.5m	—	—	大山町の一 部	住宅地 農地								
								L=500m	—	大山町の一 部	住宅地 農地					

海岸保全施設整理表(19)

No	市町村名	市町村名称 (英語)	区域 取地名、地区地帯名 (読み)	種類	新設 「防」 設備 [C]	整備年	海岸保全施設整備状況 (10)				浸食地域 及びその状況		備考	気象変動を踏まえた 施設整備		浸食又は崩壊の方法
							堤防 (堤防)		堤防 (支線計画)		地盤	状況		暴風浪 影響評価	気候変動を踏まえた 想定される影響内容	
							延長等 [延長] [C]	天端幅 [天端] [C]	延長等 [延長] [C]	天端幅 [天端] [C]						
50	大山市	内海地区 (大留地区、 土保地区)	大田地区内海地区 [大田地区内海地区] [大田地区内海地区] [大田地区内海地区] [大田地区内海地区] [大田地区内海地区] [大田地区内海地区] [大田地区内海地区] [大田地区内海地区] [大田地区内海地区] [大田地区内海地区] [大田地区内海地区] [大田地区内海地区]	堤防	—	1965年	L=98.0m	4.5m	—	—	大田地区の一部	住宅地 農地	- 養蚕地区の農地が浸食 - 漁業の設備、漁具等 - 漁民の生活向上 - 気候変動を踏まえた 施設整備	- 浸食又は崩壊の方法		
				堤防	—	1975年	L=42.0m	4.5m	—	—	大田地区の一部	住宅地 農地				
				堤防	—	1975年	L=36.08m	—	—	—	—	—				
				堤防	—	1976年	L=60.0m	4.5m	—	—	大田地区の一部	住宅地 農地				
				堤防	—	1976年	L=60.0m	—	—	—	—	—				
				堤防	—	1977年	L=80.3m	4.5m	—	—	大田地区の一部	住宅地 農地				
				堤防	—	1977年	L=67.2m	—	—	—	—	—				
				堤防	—	1978年	L=100.0m	—	—	—	—	—				
				堤防	—	1979年	L=85.0m	4.5m	—	—	大田地区の一部	住宅地 農地				
				堤防	—	1980年	L=169.0m	4.5m	—	—	大田地区の一部	住宅地 農地				
				堤防	—	1983年	L=114.1m	—	—	—	—	—				
				堤防	—	1984年	L=140.0m	—	—	—	—	—				
				堤防	—	1995年～2003年	L=102.5m	2.5m	—	—	—	—				
				堤防	—	—	—	—	L=300m	大田地区の一部	住宅地 農地	未確定				

海岸保全施設整理表(20)

[illegible]

海岸保全施設整理表(21)

No	市町村名	海岸管理 法第2条 (区分)	区域 海岸名、地区海岸名、 (地号)	対象	平成 「年」 改修 「回」	築岸年	海岸の状況と改正状況				変更の理由 及び状況		備考	築岸要綱等(地 域)と関係		維持又は取替の方法
							現況 (既設)		改修 (改修計画)		地号	状況		要綱等 の取扱い	変更の理由 及び状況	
							延長 (m)	幅員 (m)	延長 (m)	幅員 (m)						
35	(既設) 大山市	堤防等 (水防法、土 砂防止法)	名和海岸地区 (大山市大字新平町千14番地 ～大山市大字新平町千14番地 迄)	海岸	—	1988年	L=243.0m	4.5m	—	—	大山市の 一帯	築岸	築岸要綱等 の取扱い は、 大山市の 築岸要綱 に 基づき 決定 する。	築岸要綱等 の取扱い は、 大山市の 築岸要綱 に 基づき 決定 する。	築岸要綱等 の取扱い は、 大山市の 築岸要綱 に 基づき 決定 する。	
				海岸	—	1988年	L=30.2m	4.5m	—	—	大山市の 一帯	築岸				
				海岸	—	1988年	L=323.1m	4.5m	—	—	大山市の 一帯	築岸				
				海岸	—	1982年	L=105.0m	4.5m	—	—	大山市の 一帯	築岸				
				海岸	—	1986年	L=139.0m	—	—	—	大山市の 一帯	築岸				
				海岸	—	1989年	L=94.7m	4.5m	—	—	大山市の 一帯	築岸				
				海岸	—	1990年	L=155.0m	4.5m	—	—	大山市の 一帯	築岸				
36	大山市	堤防等 (水防法、土 砂防止法)	名和海岸地区 (大山市大字大字大字大字大字 ～大山市大字大字大字大字大字 迄)	海岸	—	1960年	L=189.6m	4.5m	—	—	大山市の 一帯	在り地 築岸	築岸要綱等 の取扱い は、 大山市の 築岸要綱 に 基づき 決定 する。	築岸要綱等 の取扱い は、 大山市の 築岸要綱 に 基づき 決定 する。	築岸要綱等 の取扱い は、 大山市の 築岸要綱 に 基づき 決定 する。	
				海岸 (堤防築岸)	—	1969年	L=155.8m	4.5m	—	—	大山市の 一帯	在り地 築岸				
				海岸 (堤防築岸)	—	1972年	L=72.5m	4.5m	—	—	大山市の 一帯	在り地 築岸				
				海岸	—	1972年	L=72.5m	—	—	—	—	—				
				海岸 (堤防築岸)	—	1977年	L=163.5m	4.5m	—	—	大山市の 一帯	在り地 築岸				
				海岸 (堤防築岸)	—	1973年	L=113.8m	4.5m	—	—	大山市の 一帯	在り地 築岸				
				海岸	—	1973年	L=113.8m	—	—	—	—	—				

海岸保全施設整理表(22)

No	市町村名	海(富)域名 (市界)	区域 海岸名、地区海岸名 (地名)	種類	新設 「F」 改良 「C」	整備年	規模 (築堤)		規模 (改良計画)		事業の地域 及びその状況		備考	鳥獣被害を防止した 防護整備		地質及び経路の方法
							延長 [m]	天端高 [m] (平均) 3.0~3.2	延長 [m]	天端高 [m] (平均) 3.0~3.2	地域	状況		想定防 砂距離[m]	公営事業を除く自主 防砂の整備内容	
56	(国) 大山市	内取根 (水管理、国 土保全庁)	名和海岸大字地区 〔大山市大字大字大森733番地先 ～大山市大字大字字島881番地6号〕	桟橋工	—	1974年	L=108m	—	—	—	—	—	〈海岸の整備、築上げ等〉 ※名和海岸大字地区にわたって設定	〈海岸の整備、築上げ等〉	〇護岸(人工リーフ)・護岸堤・突堤 減速による波浪軽減の改善や堤体P 工の修繕・撤去、次の等について、日 後の必要箇所を10年程度定期的に 点検・更新を実施。必要に応じてP 工の修繕や海に面した高圧配線・経路 に危機、施設の機能を確保する。	
				桟橋工	—	1975年	L=30.5m	—	—	—	—	—				
				桟橋工	—	1986年	L=100m	—	—	—	—	—				
				桟橋工	—	1966年	L=215m	—	—	—	—	—				
				護岸 (桟橋延長護岸)	—	1982年	L=120.0m	4.5m	—	大山市の 一部	住宅地 農地					
				護岸 (桟橋延長護岸)	—	1984年	L=173.0m	4.5m	—	大山市の 一部	住宅地 農地					
				護岸 (桟橋延長護岸)	—	1985年	L=121.1m	4.5m	—	大山市の 一部	住宅地 農地					
				護岸	—	1970年	L=135.0m	4.5m	—	大山市の 一部	農地					
57	大山市	内取根 (水管理、国 土保全庁)	大(海岸)大字地区 〔大山市大字大字下字島573番地1地先 ～大山市海岸大字下字川723番地先〕	護岸	—	1971年	L=17.5m	4.5m	—	—	大山市の 一部	農地	〈海岸の整備、築上げ等〉 ※大山市海岸大字地区にわたって設定	〈海岸の整備、築上げ等〉	〇水門・門扉 日増しの浸食、他施設等との近接 防砂点検及び5年1回は経路の定期的 な点検を行い、防波の経年変化や 劣化、損傷を調査するとともに、必要に 応じて修繕や撤去を図ると、調査の結果 等に基づき、建設の機能を確保する。	
				護岸	—	1972年	L=126.0m	4.5m	—	大山市の 一部	農地					
				護岸	—	1973年	L=117.0m	4.5m	—	大山市の 一部	農地					
				護岸	—	1978年	L=114.8m	4.5m	—	大山市の 一部	農地					
				護岸	—	1979年	L=208.6m	4.5m	—	大山市の 一部	農地					
				護岸	—	1979年	L=133.2m	4.5m	—	大山市の 一部	農地					
				護岸	—	1980年	L=135.3m	4.5m	—	大山市の 一部	農地					
				天端増高	—	1984年	L=136.2m	—	—	—	—					
				天端増高	—	1985年	L=583.3m	—	—	—	—					

海岸保全施設整理表(23)

[illegible]

海岸保全施設整理表(24)

No	所在地	施設名 (名称)	区域	材料	平成 「年」 改修 「回」	築造年	規模 (延2)				設置の目的 及び状況		備考	施設管理関係 施設整備		維持又は管理の方法
			海岸名、地区海岸名、 (地号)				幅員等	天端幅 (1.0m) 延長等	延長等 (1.0m) 延長等	天端幅 (1.0m) 延長等	地質	状況		定期点検 管理関係	定期点検 管理関係	
61	(昭45) 大山市	大山市 (大町7)	～山崎海岸中田地区 (大山市大町7～大山市中田)	護岸 (重力式)	—	1966年	L=22m	3.5m	—	—	大山市の 一部	良好 良好	～海岸の防波、堤上げ等 ～海岸の防波、堤上げ等	定期点検 管理関係	定期点検 管理関係	～海岸の防波、堤上げ等 ～海岸の防波、堤上げ等
				護岸 (重力式)	—	1977年	L=27m	3.5m	—	—	大山市の 一部	良好 良好				
				護岸 (重力式)	—	1999年	L=26m	2.6m	—	—	大山市の 一部	良好 良好				
				護岸 (重力式)	—	1998年	L=28m	2.4m	—	—	大山市の 一部	良好 良好				
				護岸 (重力式)	—	1981～1986年	L=362m	4.5m	—	—	大山市の 一部	良好 良好				
				護岸 (重力式)	—	1983～1984年	L=34m	1.5m	—	—	大山市の 一部	良好 良好				
				護岸 (重力式)	—	1998年	L=149m	2.6m	—	—	大山市の 一部	良好 良好				
62	大山市	大山市 (大町7)	大山市中田地区 (大山市中田7～大山市中田248番の1地号)	護岸	—	1973年	L=153.0m	4.5m	—	—	大山市の 一部	良好	～海岸の防波、堤上げ等 ～海岸の防波、堤上げ等	定期点検 管理関係	定期点検 管理関係	～海岸の防波、堤上げ等 ～海岸の防波、堤上げ等
				護岸	—	1972年	L=157m	—	—	—	—	—				
				護岸	—	1974年	L=117.0m	4.5m	—	—	大山市の 一部	良好				
				護岸	—	1974年	L=110m	—	—	—	—	—				
				護岸	—	1975年	L=68.7m	4.5m	—	—	大山市の 一部	良好				
				護岸	—	1975年	L=69.6m	—	—	—	—	—				
				水門	—	1993年	1基	—	—	—	大山市の 一部	良好				

海岸保全施設整理表(25)

No	市町村名	海岸管理区 (市町村)	区域 海岸名、市町村界、 (市町村)	対象	平成 「年」 年度 「年」	築造 (年次)	規模 (延設)				位置の概略 及び状況		備考	施設管理関係 施設管理 施設管理 施設管理		維持又は管理の方法
							延長 (m)	幅員 (m)	高さ (m)	水深 (m)	地質	状況		施設管理 施設管理	施設管理 施設管理	
63	大山町	東部地区 (水管理、国 土保全課)	大山町東部地区 (大山町立町立第246番の1地先～ 大山町立第246番の1地先)	堤防	—	1968年	L=66.0m	4.5m	—	—	大山町の 一部	良好	・堤防の整備、築上げ等 ・大山町立第246番の1地先～ 大山町立第246番の1地先	・大山町立第246番の1地先～ 大山町立第246番の1地先	・大山町立第246番の1地先～ 大山町立第246番の1地先	・大山町立第246番の1地先～ 大山町立第246番の1地先
				堤防	—	1969年	L=233.0m	4.5m	—	—	大山町の 一部	良好				
				堤防	—	1972年	L=23.0m	4.5m	—	—	大山町の 一部	良好				
				堤防	—	1977年	L=43.5m	—	—	—	—	—				
				堤防	—	1980年	L=274m	—	—	—	—	—				
64	米子市	東部地区 (水管理、国 土保全課)	米子市東部地区 (米子市立第246番の1地先～ 米子市立第246番の1地先)	堤防	—	1966年	L=202.0m	4.5m	—	—	米子市の 一部	住宅地 良好	・堤防の整備、築上げ等 ・米子市立第246番の1地先～ 米子市立第246番の1地先	・米子市立第246番の1地先～ 米子市立第246番の1地先	・米子市立第246番の1地先～ 米子市立第246番の1地先	・米子市立第246番の1地先～ 米子市立第246番の1地先
				堤防	—	1968年	L=30.0m	4.5m	—	—	米子市の 一部	住宅地 良好				
				堤防	—	1969年	L=83.0m	4.5m	—	—	米子市の 一部	住宅地 良好				
				堤防	—	1968年	L=23.0m	4.5m	—	—	米子市の 一部	住宅地 良好				
				堤防	—	1968年	L=99.8m	—	—	—	—	—				
				堤防	—	1971年	L=118.3m	4.5m	—	—	米子市の 一部	住宅地 良好				
				堤防	—	1972年	L=70.4m	4.5m	—	—	米子市の 一部	住宅地 良好				
				堤防	—	1976年	L=133.0m	—	—	—	—	—				
				堤防	—	1977年	L=229.1m	—	—	—	—	—				
				堤防	—	1977年	L=229.1m	—	—	—	—	—				

海岸保全施設整理表(26)

No	所在地	施設種別 (名称)	区域 所在地、行政区画 (市町村)	種類 「シ」 「セ」 「コ」	年 「シ」 「セ」 「コ」	規格 (規格)		規格 (建設規格)		設置の経緯 及び状況		備考	施設管理 管理団体		維持管理 維持管理 維持管理
						幅員 (m)	高さ (m)	幅員 (m)	高さ (m)	地盤	状況		管理団体	維持管理 維持管理 維持管理	
64	(昭和)	堤防 (水防用、土砂防除)	足尾川 (水防用、土砂防除)	堤防	1987年	L=80.0m	2.0m	—	—	—	—	—	—	—	—
				堤防	1987年	L=80.0m	2.0m	—	—	—	—				
				堤防	1988年	L=80.0m	2.0m	—	—	—	—				
				堤防	1991年	L=80.0m	2.0m	—	—	—	—				
				堤防 (水防用)	1993年	L=8.0m	4.5m	—	—	—	—				
				堤防 (水防用)	1994年	L=15.0m	4.5m	—	—	—	—				
65	足尾川	堤防 (水防用)	足尾川 (水防用、土砂防除)	堤防	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
66	足尾川	堤防 (水防用)	足尾川 (水防用、土砂防除)	堤防	1982年	L=20m	2.7m	—	—	—	—	—	—	—	—
				堤防	1982～1984年	L=1009m	3.5m	—	—	—	—				
				堤防	1971年～1983年	L=421m	4.5m	—	—	—	—				
				堤防	1965～1983年	L=487m	2.5m	—	—	—	—				
				堤防	1989～1997年	L=643m	2.0m	—	—	—	—				
				堤防	—	—	—	L=1,100m	—	—	—	—	—	—	—

海岸保全施設整理表(27)

No	所在地	施設種別 (区分)	区域 海防区、防区、防線名 (地号)	種類	平成 「シ」 改修 「ロ」	築造年	規模 (延2)		設備 (建設設備)		設置の状況 及び状況		備考	施設管理関係 施設整備		維持又は管理の方法
							延床	延床	延床	延床	地盤	状況		管理関係	施設整備	
67	米子市	防備用 (水防用・土砂防)	防備用防備地区 (米子市米子区米子町西ノ二 336番地内～米子市米子区米子町 西ノ二337番地内)	海岸防	—	1986年～1990年	L=153.0m	2.0m	—	—	—	—	—	○	+改修により、防備用防備地区の防備 機能を向上させる。	防備用防備地区の防備機能を向上 させる。
				堤防	—	不明	L=227m	3.5m	—	—	米子市の 一部	住宅地 一部	—			
				堤防	—	—	—	—	L=100m	—	米子市の 一部	住宅地 一部	未確定			
68	米子市	防備用 (水防用・土砂防)	防備用防備地区 (米子市米子区米子町西ノ二 336番地内～米子市米子区米子町 西ノ二337番地内)	堤防	—	1970年	L=243.0m	4.5m	—	—	米子市の 一部	住宅地 一部	—	○	+築造による防備用防備地区の防備 機能を向上させる。	防備用防備地区の防備機能を向上 させる。
				堤防	—	1959年	L=253.0m	4.5m	—	—	米子市の 一部	住宅地 一部	—			
				堤防	—	1968年	L=213.0m	4.5m	—	—	米子市の 一部	住宅地 一部	—			
				堤防	—	1968年	L=373.0m	4.5m	—	—	米子市の 一部	住宅地 一部	—			
				堤防	—	1969年	L=306.0m	4.5m	—	—	米子市の 一部	住宅地 一部	—			
				堤防	—	1969年	L=173.0m	4.5m	—	—	米子市の 一部	住宅地 一部	—			
				堤防	—	1955年	L=30.0m (126.0m)	4.2m	—	—	—	—	—			
				堤防	—	1954年	L=30.0m	4.2m	—	—	—	—	—			
				堤防	—	1954年	L=30.0m (7465.0m)	4.2m	—	—	—	—	—			
				堤防	—	1954年	L=30.0m	4.2m	—	—	—	—	—			
				堤防	—	1954年	L=30.0m	4.2m	—	—	—	—	—			

海岸保全施設整理表(28)

[illegible]

海岸保全施設整理表(29)

[illegible]

海岸保全施設整理表(30)

No	市町村名	海岸管理区域 (市町村)	区域 海岸名、地区海岸名 (市町村)	種類	建設 年次 (C)	築設 (築設)		改修 (改修計画)		築設の施設 及びその状況		備考	築設の施設 及びその状況		築設の施設 及びその状況
						築設 年次 (T.B.M.)	築設 年次 (T.B.M.)	築設 年次 (T.B.M.)	築設 年次 (T.B.M.)	築設 年次 (T.B.M.)	築設 年次 (T.B.M.)		築設 年次 (T.B.M.)	築設 年次 (T.B.M.)	
69	長門市	長門市 (長門市・長門市 土佐支所)	長門市・長門市 (長門市・長門市 土佐支所)	堤防	1972年	L=232m	4.5m	—	—	長門市の 一部	長門市の 一部	長門市の 一部	長門市の 一部	長門市の 一部	長門市の 一部
				堤防	—	—	—	—	—	—	—				
				堤防	—	—	—	—	—	—	—				
				堤防	—	—	—	—	—	—	—				
				堤防	—	—	—	—	—	—	—				
70	長門市	長門市 (長門市・長門市 土佐支所)	長門市・長門市 (長門市・長門市 土佐支所)	堤防	1953年	L=181.0m	4.5m	—	—	長門市の 一部	長門市の 一部	長門市の 一部	長門市の 一部	長門市の 一部	長門市の 一部
				堤防	1953年	L=121.0m	4.5m	—	—	長門市の 一部	長門市の 一部				
				堤防	1952年	L=88.0m	4.5m	—	—	長門市の 一部	長門市の 一部				
				堤防	1951年	L=222.0m	4.5m	—	—	長門市の 一部	長門市の 一部				
				堤防	1953年	L=114.0m	4.5m	—	—	長門市の 一部	長門市の 一部				
				堤防	1951年	L=193.0m	4.5m	—	—	長門市の 一部	長門市の 一部				
				堤防	1952年	L=133.0m	4.5m	—	—	長門市の 一部	長門市の 一部				
				堤防	1972年	L=40.0m	4.5m	—	—	長門市の 一部	長門市の 一部				
				堤防	1954年	L=263.0m	4.5m	—	—	長門市の 一部	長門市の 一部				
				堤防	1964年	L=20.0m (T4465.0m)	3.0m	—	—	—	—				
				堤防	1964年	L=30.0m	3.0m	—	—	—	—				
				堤防	1964年	L=30.0m	3.0m	—	—	—	—				

海岸保全施設整理表(31)

[illegible]

海岸保全施設整理表(32)

No	市町村名	海岸管理者 (所管)	区域 海岸名、地区海岸名 (地元)	種類	新設 「○」 改良 「△」	整備年	規模 (現状)		規模 (改良計画)		施設の形態 及びその状況		備考	施設整備を踏まえた 施設整備		維持又は修繕の方法
							延長等	大断面 (T.P.m) R.C.M.R.R.	延長等 R.M.R.R.	大断面 (T.P.m) R.C.M.R.R.	地域	状況		整備箇所	整備内容	
71	米子市	鳥取県 (水管理・国土保全局)	米子海岸米子荘地区 (米子市佐生新田3丁目2F-15～米子市南三軒)	突堤	—	不明	L=30m	2.4m	—	—	—	—	○	+養浜による継続的な砂浜管理等 +護岸の整備、高上げ等 +海岸線の整備、高上げ等 +人工リーフの整備、改良等	気候変動を踏まえた 想定される整備内容	維持又は修繕の方法
				突堤	—	不明	L=30m	1.4m	—	—	—	—				
				突堤	—	不明	L=30m	1.5m	—	—	—	—				
				突堤	—	不明	L=30m×2基 L=60m	1.0m	—	—	—	—				
				防沖堤 (6号)	—	1976年	L=150m	3.0m	—	—	—	—				
				防沖堤 (4号)	—	1974年	L=150m	3.0m	—	—	—	—				
				防沖堤 (2号)	—	1972年	L=150m	3.0m	—	—	—	—				
				防沖堤 (1号)	—	1971年	L=150m	3.0m	—	—	—	—				
				護堤 (1号)	△	2006年	L=140m	0.6m	—	—	—	—				
				護堤 (2号)	△	2011年	L=120m	1.0m	—	—	—	—				
				防沖堤 (7号)	—	1977年	L=150m	3.0m	—	—	—	—				
				防沖堤 (8号)	—	1978年	L=150m	3.0m	—	—	—	—				
				防沖堤 (9号)	—	1979年	L=150m	3.0m	—	—	—	—				
				防沖堤 (10号)	—	1980年	L=150m	3.0m	—	—	—	—				
				防沖堤 (11号)	—	1981年	L=150m	3.0m	—	—	—	—				
				防沖堤 (12号)	—	1982年	L=150m	3.0m	—	—	—	—				

海岸保全施設整理表(33)

[illegible]

海岸保全施設整理表(34)

No	市町村名	海岸管理区分 (市町)	区域 町名、地区或町名 (地先)	名称 [C] 名称 [C]	設置年	規格 (規格)		規格 (改良規格)		設置の経緯 及びその状況		備考	別添表を添付した 施設番号		維持又は改修の方法
						規格等	天幕面 (L:W) (m:m)	規格等 (L:W)	天幕面 (L:W) (m:m)	地盤	状況		整備箇所	別添表を添付した 施設番号	
73	大子町	(254) (公) (保) (保) (土) (保) (保)	大子町南三地区 (大子町南三地区) (大子町南三地区) (大子町南三地区)	堤防 (1号)	1979年	L=65m	1.5m	—	—	—	—	C	大子町南三地区 堤防の整備、改良、新築	大子町南三地区 堤防の整備、改良、新築	大子町南三地区 堤防の整備、改良、新築
				堤防 (2号)	1979年	L=65m	1.8m	—	—	—	—				
				堤防 (3号)	1979年	L=65m	1.8m	—	—	—	—				
				堤防 (4号)	1979年	L=65m	1.8m	—	—	—	—				
				堤防 (5号)	1979年	L=65m	1.8m	—	—	—	—				
				堤防 (6号)	1983年	L=65m	1.8m	—	—	—	—				
				堤防 (7号)	1983年	L=65m	1.8m	—	—	—	—				
				堤防 (8号)	1983年	L=55m	1.8m	—	—	—	—				
				堤防 (9号)	1984年	L=45m	1.8m	—	—	—	—				
				堤防 (10号)	1979年	L=150m	3.0m	—	—	—	—				
				堤防 (11号)	1996年	L=122m	3.0m	—	—	—	—				
				堤防 (12号)	1997年	L=120m	3.0m	—	—	—	—				
				堤防 (13号)	2015年	L=120m	2.0m	—	—	—	—				
				堤防 (14号)	2015年	L=120m	2.0m	—	—	—	—				
				堤防 (15号)	2015年	L=70m	2.0m	—	—	—	—				
				堤防	不明	L=40m	4.5m	—	—	大子町 南三地区	堤防				

海岸保全施設整理表(35)

海岸防災施設整備状況表(No.7)																	
No	市町村名	海岸管理官 (所管)	区域 海岸名、地区海岸名 (地元)	種類	新設 「○」 改良 「△」	整備年	規模 (現況)		規模 (改良計画)		設置の地域 及びその状況		備考	既設施設を踏まえた 施設整備		維持又は修繕の方法	
							延長等	大堤脚 (T.P.m) (○△△△△)	延長等 ※単位:m	大堤脚 (T.P.m) (○△△△△)	地域	状況		要箇所 整備箇所	気候変動を踏まえた 想定される整備内容		
73	(続き) 米子市	鳥取県 (水管理・国 土保全局)	米子海岸西三柳地区 (米子市西三柳～米子市夜見町 3 0 8 8)	護岸	—	不明	L=48m	4.5m	—	—	米子市の 一部	保安林	○ ・既設による順応的な砂浜管理等 ・護岸の整備、嵩上げ等 ・植岸地の整備、嵩上げ等		○護岸・埋没式護岸・埋没式護岸 施設の新備・劣化等の度合い、及び、日 常的な運用や年に1回程度の定期的な点 検・評価を実施し、定例の発生位置や劣化 の進行段階に応じた改善命仕を要する等 適切な維持・修繕に努め、施設の機能 を確保する。 ○埋没（人工リーフ）・埋没式・埋没 施設による浮体施設の劣化や浮体ブイの 移動・沈没、以下等について、定期的な 点検や5年に1回程度の定期的な点検・評 価を実施し、必要に応じてブイの補充等 による適切な維持・修繕に努め、施設の機 能を確保する。 ○水門・内留 日無村の遊艇、秋風堀前などにおける開 閉を要する5年に1回程度の定期的な点 検を行い、設備の経年劣化や劣化、損傷を 調査するとともに、必要に応じて改善命仕 を要する等、適切な維持・修繕に努め、施設の 機能を確保する。 ○砂浜 白浜町の遊艇や遊艇施設に、行船や遊 艇船等の状況を点検し、必要に応じて異 常等の土砂対策により適切な維持に努め る。		
				護岸	—	不明	L=280m	4.0m	—	—	米子市の 一部	保安林					
				砂浜	—	—	—	—	L=2100m	—	米子市の 一部	保安林					L=1800m 指定予定
74	米子市	鳥取県 (水管理・国 土保全局)	米子海岸夜見地区 (米子市夜見町字砂浜3088番19地号～米 子市夜見町字砂浜3103番2地号)	護岸	—	1986年	L=254.4m	4.5m	—	—	米子市の 一部	住宅地 工業用地	○ ・既設による順応的な砂浜管理等 ・護岸の整備、嵩上げ等 ・植岸地の整備、嵩上げ等				
				護岸	—	1987年	L=70.0m	4.5m	—	—	米子市の 一部	住宅地 工業用地					
				護岸	—	1987年	L=25.7m	4.5m	—	—	米子市の 一部	住宅地 工業用地					
				護岸	—	1988年	L=91.5m	4.5m	—	—	米子市の 一部	住宅地 工業用地					
				護岸	—	1989年	L=590.0m	4.5m	—	—	米子市の 一部	住宅地 工業用地					
				突堤	—	1993年～1995年	L=120m (幅員50.0m)	1.7m (0.4m)	—	—	—	—					
				護岸堤	—	1980年	L=200.0m	2.0m	—	—	—	—					
				護岸堤	—	1988年	L=121.9m	2.0m	—	—	—	—					
				砂浜	—	—	—	—	L=700m	—	米子市の 一部	住宅地 工業用地	L=682m 指定予定				

海岸保全施設整理表(36)

No	市町村名	海岸管理者 (所管)	区域 海岸名、地区海岸名 (地先)	種類	新設 「○」 改良 「△」	整備年	規模 (現況)		規模 (改良計画)		受益の地域 及びその状況		備考	気候変動を踏まえた 施設整備		維持又は整備の方法	
							延長等	大堤高 (T.P.m) 又はL.P.m	延長等 m又はL.P.m	大堤高 (T.P.m) 又はL.P.m	地域	状況		整備箇所	気候変動を踏まえた 想定される整備内容		
75	米子市	農政課 (水管理・国 土保全局)	米子海岸富島地区 (米子市富島町字新開倉1番15地先 ～米子市富島町字新開給砂226番10地先)	突堤	—	1993年～1995年	L=120m (幅延50.0m)	1.7m (0.4m)	—	—	—	—				○ +既設による構造的な砂浜管理等 +護岸の整備、嵩上げ等 +人工リークの整備、改良等	○ +既設による構造的な砂浜管理等 +護岸の整備、嵩上げ等 +人工リークの整備、改良等
				防壁 (1号)	○	2004年	L=201m	-0.8m	L=203m (35162m幅延 改良済)	3.0m 建設改良済 2022年	—	—					
				防壁 (2号)	○	2006年	L=198m	-0.8m	L=198m (35170m幅延 改良済)	3.0m 建設改良済 2022年	—	—					
				防壁 (3号)	○	2008年	L=176m	-0.8m	L=176m (35157m幅延 改良済)	3.0m 建設改良済 2018年	—	—					
				防壁 (4号)	○	2009年	L=182m	-0.8m	L=182m (35162m幅延 改良済)	3.0m 建設改良済 2017年	—	—					
				防壁 (5号)	○	2011年	L=193m	-0.8m	L=193m (35255m幅延改 良済)	3.0m 建設改良済 2017年	—	—					
76	米子市	農政課 (水管理・国 土保全局)	米子海岸和田地区 (米子市和田町字濱田敷1番4地先～米 子市和田町字高崎川尻北3099番68地先)	沖合施設 (検討中)	△	—	—	—	L=1500m (検討中)	—	米子市の 一部	保安林 住宅地	未指定			○ +既設による構造的な砂浜管理等 +護岸の整備等	○ +既設による構造的な砂浜管理等 +護岸の整備等
				砂浜	—	—	—	—	L=1500m	—	米子市の 一部	保安林 住宅地	未指定				
77	米子市	農政課 (水管理・国 土保全局)	米子海岸大新津地区 (米子市大新津町字上野高1番地先～米 子市大新津町字高崎851番の9地先)	沖合施設 (検討中)	△	—	—	—	L=1100m (検討中)	—	米子市の 一部	保安林 住宅地 商業用地	未指定				○ +既設による構造的な砂浜管理等 +護岸の整備等
78	坂井市	農政課 (水管理・国 土保全局)	坂井海岸中浜地区 (坂井市佐安町字砂高1番18地先～坂 井市新屋町字赤会前3450番地先)	砂浜	—	—	—	—	L=1100m	—	坂井市の 一部	保安林 住宅地 商業用地	L=1610m 新設予定				○ +既設による構造的な砂浜管理等 +護岸の整備等
79	坂井市	環境管理課 (環境局)	坂井海岸中浜地区 (坂井市佐安町字砂高1番地先～坂井町2-22番 地先)	護岸	—	1979年	L=1480m	3.0～3.5m	—	—	坂井市の 一部	緑地 工業用地				—	
				護岸	—	1979年	L=1025m	2.1m	—	—	坂井市の 一部	工業用地					
				砂浜	—	—	—	—	L=200m	—	坂井市の 一部	緑地 工業用地	未指定				